

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

ミス・ブ・ナイト

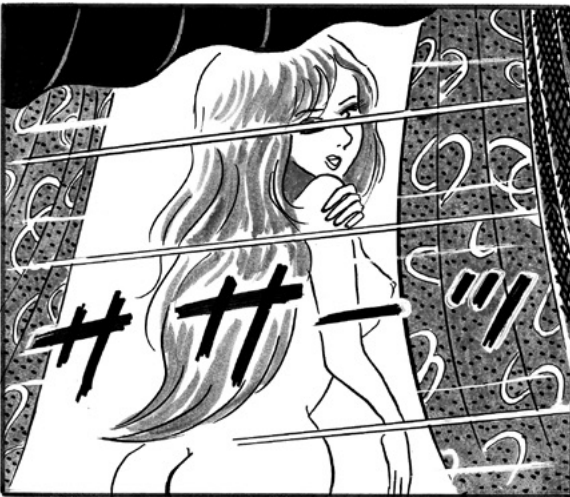
裸の女神が悲しんだ

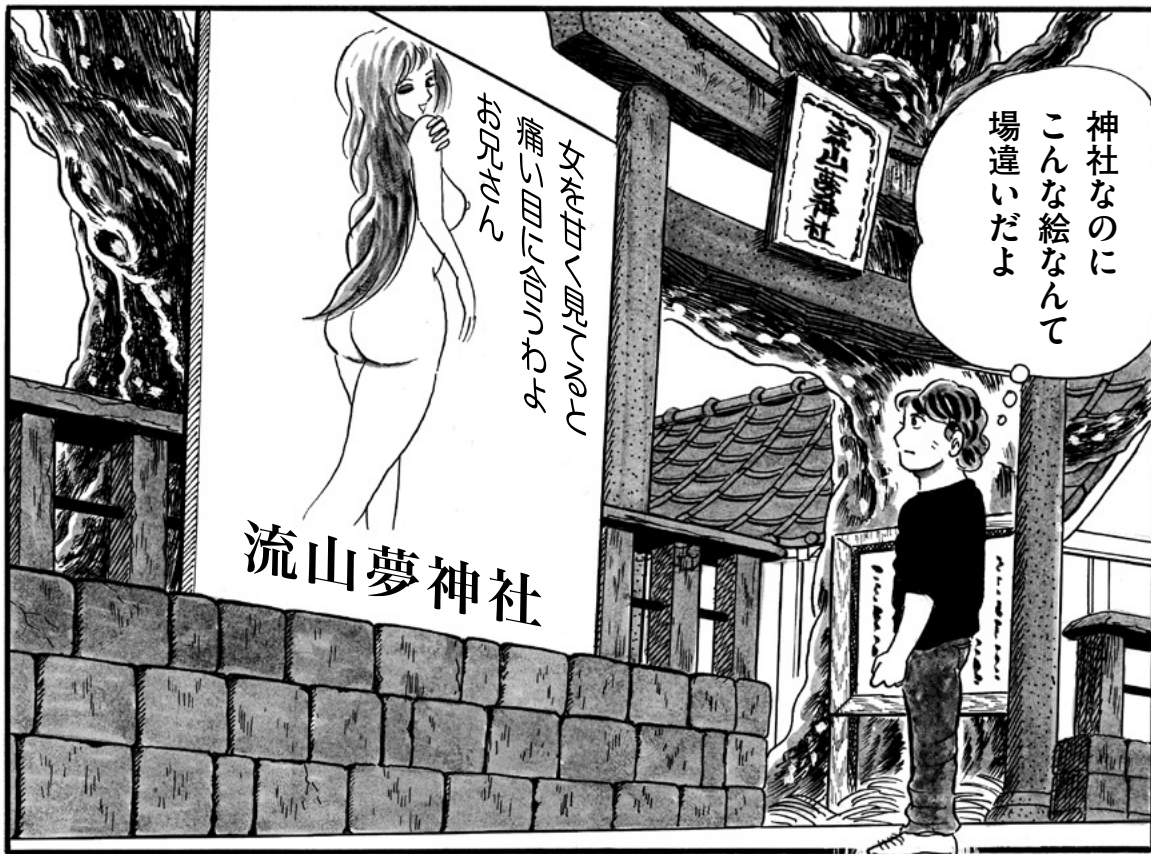
今晚は今宵も
あなた様の
お越しをお待ち
しております

さて今回は
一夜にして大金を
手にした男の物語です
どうぞ最後まで
お付き合下さいませ

たぐちえつお

おや開幕時間の
ようですねエ
では私はこの辺で
失礼致しましょう







同感ね
私もそう
思うわ



神社の
神経が
分からない



あなたに
いいモノ
あげる



驚いたでしょ
看板の中の
私が現れたので

怖がらないで
幽霊じゃ
ないから

嘘だろ
看板から
抜け出した



いらない
です



気味悪い
逃げよう



体は動かなくとも
耳は聞けるから
これから言う事を
よく聞いてね

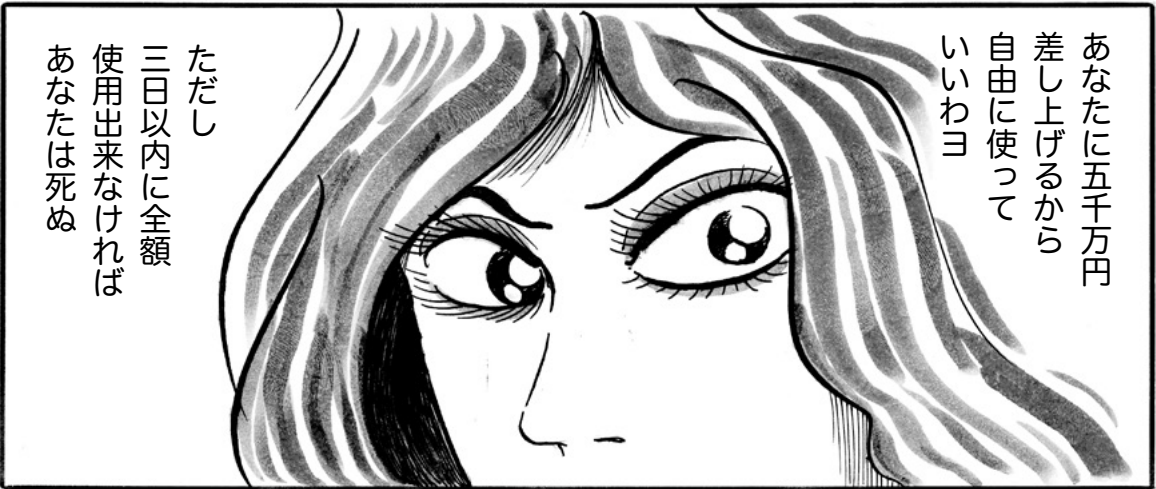


うっ
体が
う
動かない



裸の女性の
口から出た言葉が
僕の人生を
狂わした

なぜ僕に
あんな事を
言ったんだろうか
？



あなたに五千万円
差し上げるから
自由に使って
いいわヨ

ただし
三日以内に全額
使用出来なければ
あなたは死ぬ

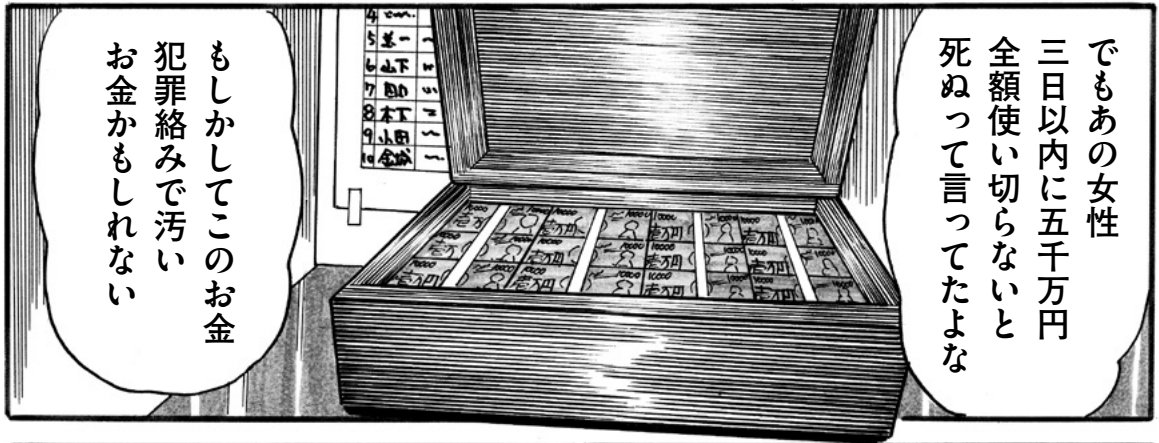


女性が言った事は
本当だった

一夜にして僕は
大金持ちに
なったのだ



アパートに帰ると
テーブルに
五千万円があった



でもあの女性
三日以内に五千万円
全額使い切らないと
死ぬって言ったよな

もしかしてこのお金
犯罪絡みで汚い
お金かもしれない



僕はもうしたら
いいんだろう
.....

困った五千万円を
どうやって使えば
いいのかも
分からない



二日経過後
五千万円は
手つかずの
ままだった

僕はお金を返そうと
女性が現れた
流山夢神社へ向った

訳の分からん
お金なんか
使えるか!!



看板は撤去
されていた

はあ？
看板なんか
初めから無いよ

兄ちゃん
ボケるには
まだ早いぞ
アハハハ



裸の女性が
看板から
現れたのにな



兄ちゃん裸の女性が
看板から現れ
たって本当かい？



ええ
そうですね



もしかして
大金を三日以内に
使えと言わな
かったか？

使わないと
死ぬと



そうですね
なぜ知って
いるんですか？

わしが
体験したのと
同じだから

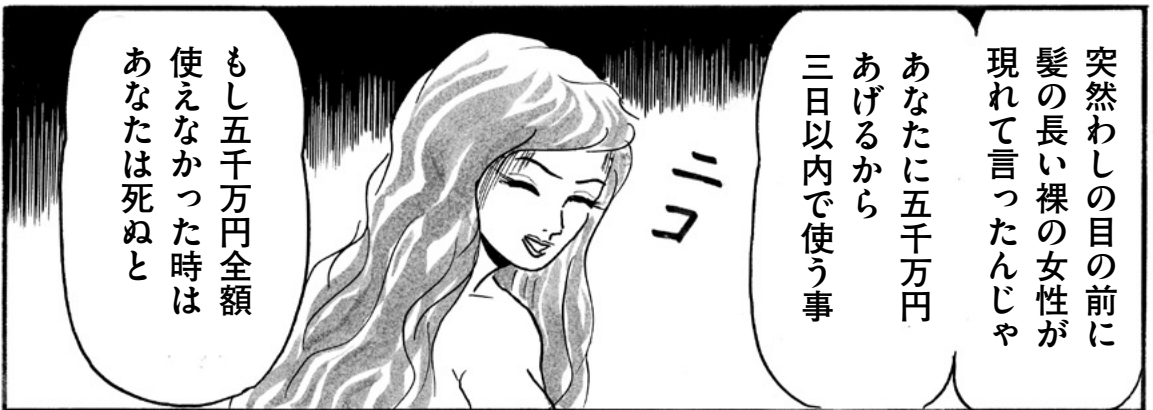


本当ですか
ぜひ僕に
その時の事を

分かった

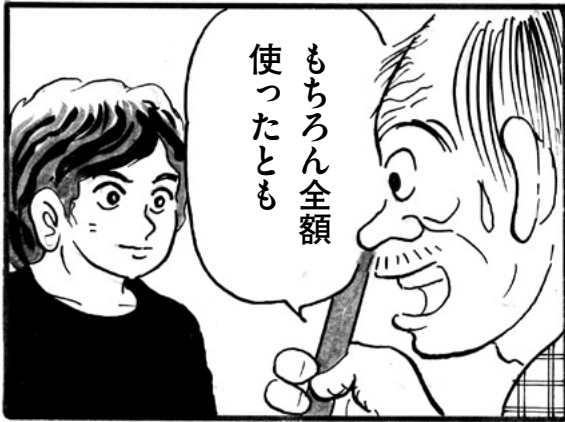
教えて
下さい

一年前
わしは神社の
仕事を終えて
帰ろうとした時



突然わしの目の前に
髪長い裸の女性が
現れて言ったんじゃ
あなたに五千万円
あげるから
三日以内で使う事

もし五千万円全額
使えなかった時は
あなたは死ぬと

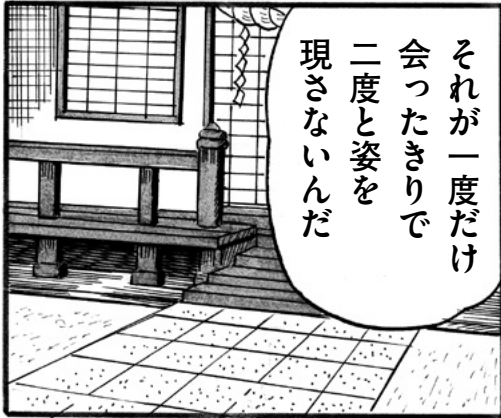


もちろん全額使ったとも



それって僕と同じです

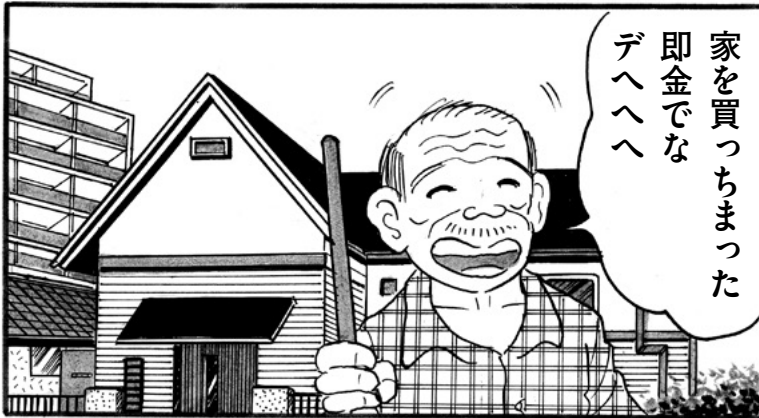
おじさんが生きていられるという事は五千万円全額使ったのですか？



それが一度だけ会ったきりで二度と姿を現さないんだ



女性との約束を守ったんだからなぜ女性が大金を渡したのか教えてくれましたか？



家を買っちゃった即金でなデヘヘヘ



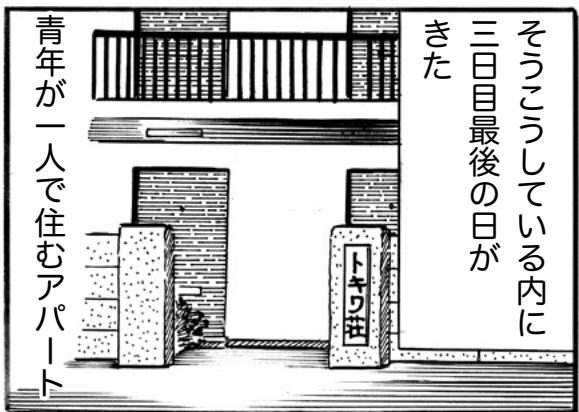
そうなんですか... ところでおじさんは五千万円で何を買ったんですか？



でも何故僕なんか五千万円くれたんだろうか？

高級住宅

おじさんは家を買ったかそれじゃ僕も家でも購入しようかな



そうこうしている内に三日目最後の日がきた

青年が一人で住むアパート



女神は天上界のトップの命により
人間界から二人の人間を選び
それぞれに大金を与え
人間の欲がいかなるものかを
試していたのです



読者諸君には裸の女性に
ついて説明しよう
女性人間では無く神々が住む
天上界の女神であった



女神は嘆き二人に対し
約束通り罰を与えた
二週間後に原因不明で
急死するように

あなたも裸の女性から
大金をもらったら
気をつけて下さいね



分かりっこ
ないさ

そしてもう一人の青年も
五千万円の内三千万円を
慈善事業に寄付し
残りを生活費にあてた



もし人間の欲が
邪悪であれば神は
人間に罰を与える
ために――

実は神社で働く男は
家を四千万円で購入し
残った金はギャンブルで
使い果していた

また外
れたー